

# たけとんぼ

戸田市立新曽小学校 戸田市立戸田東小学校 戸田市立美女木小学校「ことばの教室」2月号  
令和7年2月3日 発行



令和7年は2月2日が節分、2月3日が立春となります。

暦の上では春がやってきましたが、2月は一年の中でも最も冷え込みの厳しい時期です。寒い中での通級は大変ですが、防寒対策をして、子供たちが元気に通級できるよう御配慮をお願いいたします。



## 「令和7年度 通級希望調査」

「ことばの教室」に通級されている保護者の皆様に、次年度（令和7年度）の通級についての希望をお伺いする通級希望調査を実施いたします。

継続を希望される場合、来年度における通級の希望（曜日・通級時間）は新規に入級する児童より優先となります。現時点での御希望を十分御検討の上、担当者に御提出ください。提出期限は一人一人の通級のスケジュールに応じて担当から直接お伝えします。

- \* 第4希望まで御記入ください。
- \* 希望が7・8時間目に偏ることのないようにお願いします。
- \* 担当者は替わる場合もあります。御承知おきください。

新年度の在籍学級の時間割が決まった後、御希望をもとに、4月にお電話で相談し、調整をさせていただきます。新年度第1期の授業開始は、例年通り4月中旬の予定です。



## 感染症流行時の通級について

今季もインフルエンザが流行しております。  
インフルエンザ等感染症に罹患した場合、「ことばの教室」も通級することはできません。また、児童がインフルエンザに罹患していなくても、在籍する学級（学年）が閉鎖となった場合も同様です。  
御理解、御協力をお願いいたします。



# 戸田市難聴言語通級指導教室入級支援委員会

戸田市は「ことばの教室」の教育の充実や児童の入・退級支援のために「戸田市難聴言語通級指導教室入級支援委員会」（以下、「難言委員会」）を設けています。

「難言委員会」は、委員長「ことばの教室設置校 校長（1名）」、副委員長「ことばの教室設置校 教頭（1名）」、難言委員「市内各小・中学校から1名ずつ（18名）」、診断委員「ことばの教室担当者」、事務局「教育委員会 担当指導主事」で組織されています。



難言委員会は、「ことばの教室」への入・退級の審議を行ったり、児童の支援・指導計画について取りまとめたりしています。

難言委員は、各学校での「ことばの教室」に係る教育相談や入・退級時の手続き等を担当しています。



## 「合理的配慮」について ～吃音・難聴・発音～

苦手なことや障害に対して、「個人の課題」として済ませるのではなく、「社会の課題」として捉え、「法律に基づいた支援」を考えることが大切です。どのような支援ができるか、本人や保護者と相談し、理解を得ながら進めてきます。今回は、在籍学級で考えられる「合理的配慮」について例を挙げてみます。

### 【吃音のある児童】 \* 「吃音の合理的配慮(学苑社)」参照↓

「流暢に話すことが難しい」ということを考慮した学習内容の変更・調整が必要です。例えば、「教科書音読の評価の変更(スラスラ等の文言は入れない)」、「かけ算九九の制限時間の変更」、学年行事等の「発表時の時間的余裕の確保」など個別の配慮が必要です。学習発表会等の行事の際は、「話しやすいセリフへの変更」、「集団で声を合わせる」等の支援も考えられます。新年度へ向けて、移行支援として「吃音の配慮を申し送る」ことも大切になります。

### 【難聴の児童】 \* 「難聴児・生徒理解ハンドブック(学苑社)」参照↓

難聴の児童に対して、「音としては聞こえていても、健聴者の聞こえ方とは違う聞こえ方である」ということを、周囲が十分理解しておく必要があります。聞こえの程度に対し、身振りなどのサインや合図、実物を示す等の視覚的支援も必要になります。「座席の配慮」としては、一番前ですぐに声を掛けられる席にするよりも、友だちの行動を見て真似た方が動きやすい児童もいます。授業の内容がつかみやすく、さらにクラス全体の動きが視野に入りやすい座席(2～3番目の席)にすることも有効です。

### 【発音に誤りのある児童】

発音に誤りがある児童は、正しい音を出すための「口や舌の動き」に課題があります。「キ」が正しく言えない児童に対して、「正しく『キ』と言ってごらん」と言っても、その音を練習していなければ正しい「キ」を発音することはできません。指摘や言い直しが続くと、その音を避けるようになっていたり、話すことに消極的になったりします。本人の話したい意欲を大切にしながら、「聞き手が正しい発音で返す」ことがよいとされています。(音読や会話等の「総合使いこなし練習」に入っている場合、この限りではありません。)

上に挙げた「配慮」は一例です。人が違えば対応も変わります。「一人一人の児童に最も良い手立ては何か」を共に考えていけるよう、今後も「在籍学級」「家庭」「ことばの教室」の三者の連携を大切にしていきます。



[https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/gouriteki\\_ha\\_ryo/print.pdf](https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/gouriteki_ha_ryo/print.pdf)

内閣府「合理的配慮を知っていますか」PDF 約3.2MB